

ライフステージにあった地域マップづくりの検討

I 検討テーマの設定

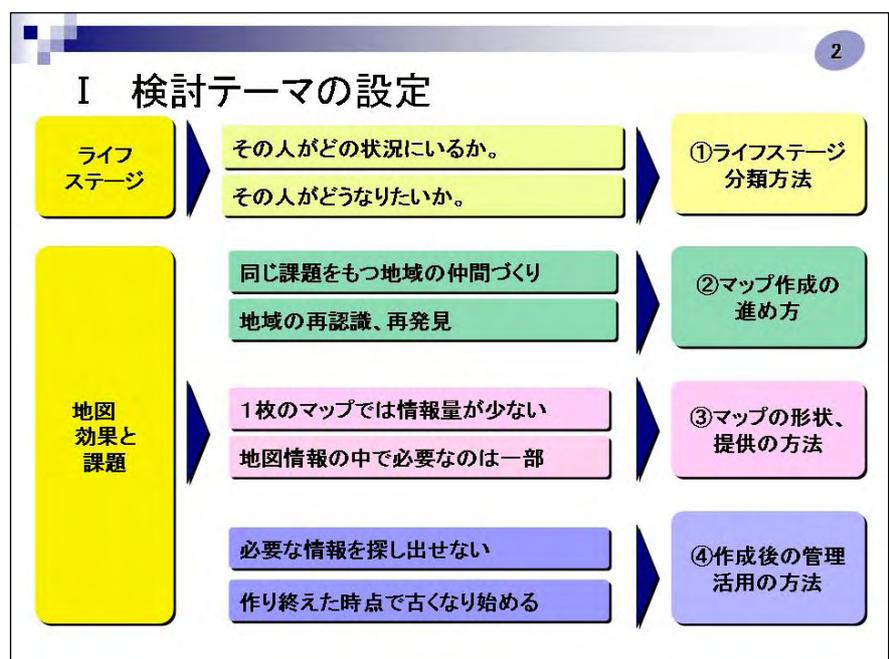


従来より、公共機関の提供や地域活動の中から各地域や目的ごとに様々な社会資源マップが作成されています。しかしながら、これまで作成されたマップは、「住民の多様なニーズに対応していない」「最新の情報が掲載されていない」「どこを見ればいいのかわからない」など、必ずしもニーズに対応

しているとは言い難い部分もあります。

私たちは、地域の住民自らがその地域の資源を調査し、マップの作成に向けて行動するという理念に基づき、新たなマップの形態を検討し実証を行いました。

検討は、大きくライフステージの分類に関する事、地図の作成に関する事、地図の提供や形態に関する事、作成後の管理や活用に関する事としました。以下、その検討報告を述べます。



Ⅱ ライフステージの分類

Ⅱ-1 ライフステージとはなにか

3

Ⅱ ライフステージの分類

Ⅱ-1 ライフステージとはなにか

■ ライフステージとは、年齢の区分ではなくその人の状況と目的の組み合わせである。

状況	目的
<ul style="list-style-type: none"> ■ 転入・住み始め ■ 就職～離職 ■ 出産、子育て、教育 ■ 退職、地域デビュー ■ 家族の介護 ■ 高齢化 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 申請手続き ■ 支援、サービスを受ける ■ 学ぶ、楽しむ、集う ■ はたらく場を探す ■ 地域の状況、行事 <p style="text-align: right;">など</p>

ライフステージについて、各自ケースを持ち寄り実際に分類作業、議論を行った結果、10代、20代といった年齢で区切るものではなく、その人それぞれの状況や目的により決定されるとの結論に至りました。

Ⅱ-2 ライフステージの分類表

分類した状況と、目的を縦軸横軸に配置したものが以下の表です、二つの条件が交差した部分的那个人に必要な情報となります。

たとえば、現在子育て中であり、学ぶ機会が欲しいなど複数の状況から絞り込むことによって、「子育てサークル」「趣味サークル」などに行き当たります。このように、欲しい情報は一律的に提供されるのではなく、自分で絞り込むことによって得ることができるのがライフステージにあった情報となります。

4

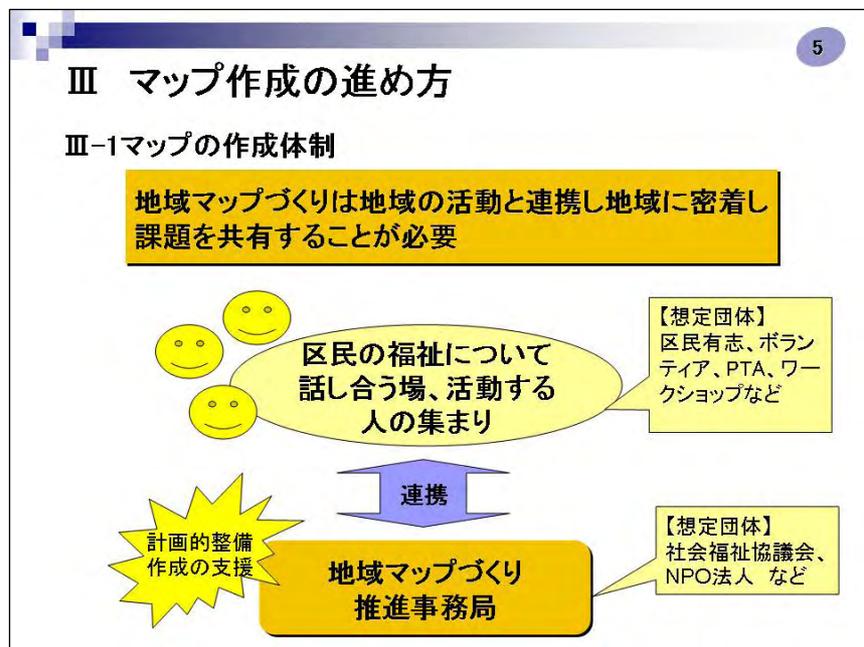
Ⅱ-2 ライフステージ分類表(例)

福祉100人委員会ライフステージに合ったマップづくり資料

	転入・住み始め	就職～退職	結婚～離婚	出産・子育て・教育	退職・地域デビュー	家族の介護～看取り	自身の高齢化	その他
状況 目的	転入手続き 公共サービス手続き (電気・ガス・水道・電話)	年金・保険証切替 入	婚姻届、離婚届 年金・保険証切替 入	出産に伴う各種手続き 保育園入園 就学手続き 学童保育		介護保険手続き 死亡に伴う各種手続き	成年後見	
る び 支 援 を 受 け け る		就業支援 ハローワーク 対人障害、心療内科	結婚相談 DV相談 再就職支援	母子保健相談 育児支援相談 予防接種 特別支援教育 再就職支援		在宅介護支援	在宅介護支援	
集 む 学 ぶ 楽 し	地域サークル 生涯学習	就業講座、学習		子育てサークル 趣味サークル	生涯学習 生涯大学 趣味サークル	デイサービス デイサロン 介護予防	デイサービス デイサロン 介護予防	
所 は た ら く 場	防災、町内会活動			ボランティア	ボランティア 防災、町内会活動	地域見守り活動	地域見守り活動	
況 地 域 の 状 況	道路、バス、駅、買い物			公園 児童館 保育園	生涯学習施設	介護施設	介護施設	災害・危険 病院・診療 バリアフリー
ど 行 事 な	地域行事			地域行事 幼稚園保育園行事 学校行事		葬祭		

Ⅲ マップ作成の進め方

Ⅲ-1 マップの作成体制

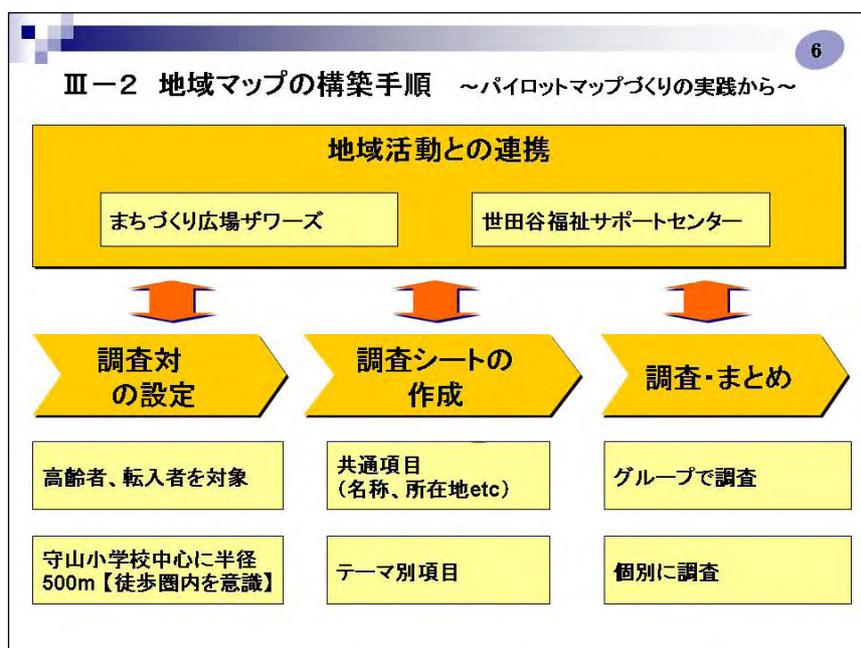


地域マップの作成は、限られたメンバーだけでは、実際の調査を進めることはできません。そこで、今回、地域のNPOの協力を得て、実際のパイロットマップを作成しました。この手法は今後、各地域マップを作る際にも同じように行う必要があると考えます。

Ⅲ-2 地域マップの構築手順

作業にあたっては、まずは、地域活動との連携をとる必要があります。次に、どのようなコンセプトで取材するか、その地域活動と一緒に検討します。このときは高齢者、転入者にとって有効な情報を、守山小学校を中心に半径500mの徒歩圏内をしらべることとしました。その後、調査シートを作成し、基本項目と、コンセプトにあったテーマ別項目を話し合い、調査シートを作成します。

最後に調査、まとめになります。この間の、話し合いや調査の過程こそが、お互いが地域のあるべき姿を理解し、協力関係をつくる上で、重要となります。



IV 地域マップの形状、提供方法

IV-1 地域マップのイメージ

7

IV 地域マップの形状、提供方法

IV-1 地域マップのイメージ

基本情報						
トイレ	ベンチ	水道	自販機	日陰	広さ	BF
-	○	-	-	○		

これが地域マップのイメージです。サイズはB6（文庫本程度）で、左側に目的、名称、所在地、周辺の地図、状況があり、左に作成者、コメント、写真と基本的な情報が配置してあります。

今回の調査では、半径500mの徒歩圏内で250件余りの有効な情報が得られました。

従来大きな地図に点を打つ方法では、どうしても掲載情報が限られてしまいます。また、地図上にたくさん情報が示されていても、その人のライフステージに必要な情報は、その中のごく一部でしかありません。

そこで、私たちとしては、このようなB6のカードサイズに周辺地図と写真や必要な情報を書き込んだ形での作成を提案します。

IV-2 地域マップの提供方法

こちらは、このマップの配布のイメージです。

このマップを、ホームページなどに掲載して必要に応じて取得したり、区の施設、ボランティア拠点などに新着の個マップを張り出します。

それによって、レシピカードのようにそれぞれが必要なものだけを集めていくことができます。

8

IV-2 地域マップの提供方法 ~配布イメージ~

地域マップ提供ホームページ

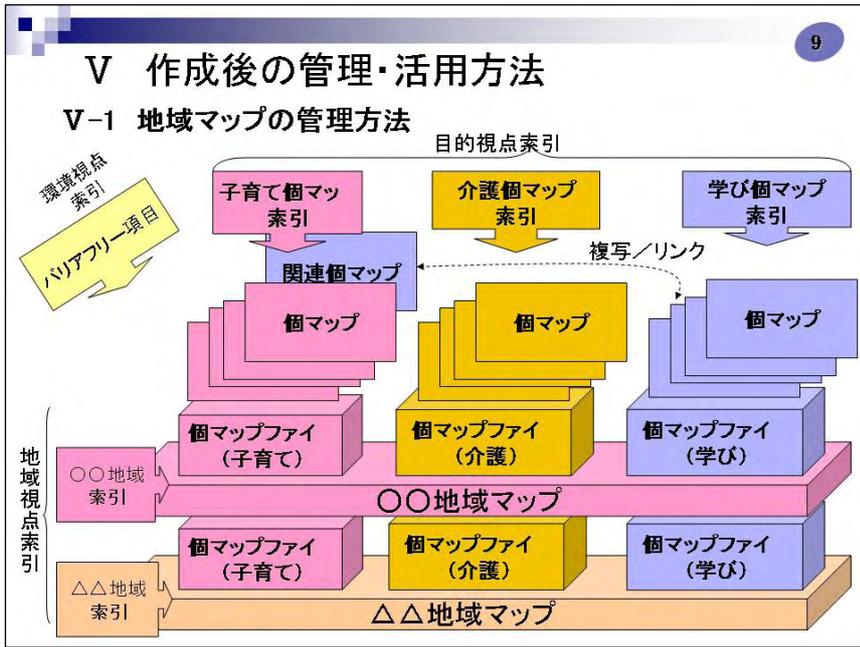
① 自宅でインターネットから取得

新着個マップポケット

② 区の施設、地域ボランティア拠点、協力店舗などが新着をプリントして張り出し

V 作成後の管理・活用

V-1 地域マップの管理方法



この図は、マップの管理方法を表しています。個別のマップが目的、状況、地域によって分類され、ファイルとして閉じてインデックスが作成されるイメージです。

この全マップの保管については、図書館等でブックファイルなどで保管しておくことで必要に応じて検索できます。

また、情報が古くなっ

た場合には個マップを差し替えることで、最新のものを提供できます。

ちょうど、不動産屋で物件を管理するのと同じような、管理方法です。

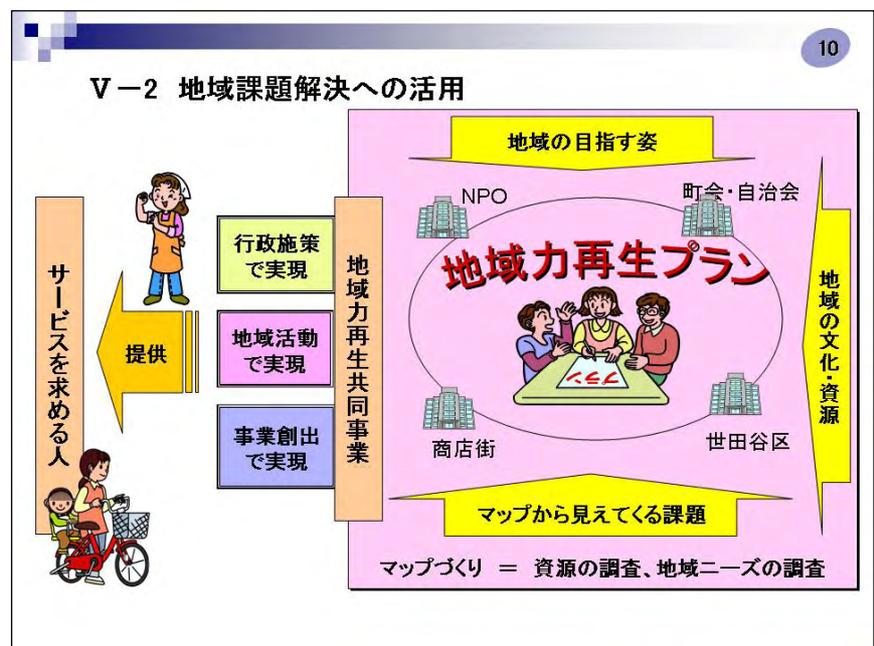
V-2 地域課題解決への活用

最後に、地域の課題を解決する手法としてのマップづくりの効果を紹介します。

ここには、マップを基盤に地域の関係者が集まって地域の力を再生するプランを考え、共同で事業を実施して住民にサービスを届けるイメージが書いてあります。

この検討を進める中で、このマップづくりが、地域のニーズや課題を明らかにする、マーケティングの意味を持つことがわかりました。

この課題をマップに終わらせるだけでなく解決に結びつけるための取り組みとして、それぞれの立場から解決策を提供することが理想の姿です。



■提言 1

地域マップづくり
区民協働プロジェクトの実施

- 区民の誰もがライフステージにあった地域情報を取得できる状況をつくる。
- マップづくりを介して地域活動の連携を進める。
- マップづくりを介して区民が地域の資源やあるべき姿を再発見する。

ここで、提言の1ですがこのライフステージにあった、マップづくりを、区民協働のプロジェクトとして提案します。

主旨は以下のとおりです

①誰もがライフステージにあった情報を取得できる状況をつくる。

住民自らが町を歩いて集めた情報を数多く提供することで、区民は多様な社会資源を自分のライフステージに合わせて組み立てながら活用することができます。

②マップづくりを介して、地域活動の連携を進める。

マップの作成過程において、NPOと地域住民と一緒に調査項目を考え、町を歩くことで連帯感が生まれ、その後の活動にも協力関係をつくることができます。

③マップづくり活動を介して、地域の資源やあるべき姿を確認する。

マップづくりの作成過程において、自らのまちの「残したい資産」、「足りない社会資源」「弱者から見た不便」などを再認識することができます。そこから、地域の「あるべき姿」に思いをめぐらし、街づくりの目標が見えてきます。

■提言 2

マップづくりを通じて生み出す
地域連携の継続と発展

- 地域のニーズを生かしたコミュニティ事業を育成する。
- 暮らしやすい街を目指して、住民の協議、検討の場を作る。
- 事業者、NPO等それぞれの強みを活かして、地域課題解決のための共同事業を実施する。

提言の2ですが、マップづくりを通じて、生まれたコミュニティを、その後、地域課題解決の仕組みとして発展させることを提案します。

主旨は以下のとおりです。

①徒歩圏内の地域でのニーズを生かしたコミュニティ事業を育成する。

マップづくりを通じて見つけた社会資源の不足は、その地域のニーズであり、コミュニティ事業の活躍できる場と考えます。産業振興の一環としても誘致やインキュベーションの支援を行い、地域住民に必要な事業を育成することが有効です。

②暮らしやすい町を目指して、住民の協議検討の場をつくる。

マップづくりを通じて育てたNPOと住民のつながりやを活かして、課題解決の方法を共に検討する場をつくります。それぞれの立場から自由な意見を出し合います。

③コミュニティビジネスやNPOそれぞれ強みを生かした、地域課題の解決のための共同事業を実施する。

①でそだてたコミュニティビジネスやNPOなどがそれぞれのよさを活かして②の目標に向けて事業共同体として取り組みます。これまでにない、地域課題の解決が見込めます。

ライフステージ分類資料

状況 目的	転入・住み始め	就職～退職	結婚～離婚	出産・子育て・教育	退職・地域デビュー	家族の介護～看取り	自身の高齢化	その他、環境など
手続き 続き	転入手続き 公共サービス手続き (電気・ガス・水道・電 話)	年金・保険証切替え	婚姻届、離婚届 年金・保険証切替え	出産に伴う各種手続き 保育園入園 就学手続き 学童保育		介護保険手続き 死亡に伴う各種手続き	成年後見	
支援、サービスを受 ける		就業支援 ハローワーク 対人障害、心療内科	結婚相談 DV相談 再就職支援	母子保健相談 育児支援相談 予防接種 特別支援教育 再就職支援		在宅介護支援	在宅介護支援	
学ぶ、楽しむ 集う	地域サークル 生涯学習	就業講座、学習		子育てサークル 趣味サークル	生涯学習 生涯大学 趣味サークル	デイサービス デイサロ ン 介護予防	デイサービス デイサロ ン 介護予防	
はたらく場所	防災、町内会活動			ボランティア	ボランティア 防災、町内会活動	地域見守り活動	地域見守り活動	
地域の状況	道路、バス、駅、買い物			公園、 児童館 保育園	生涯学習施設	介護施設	介護施設	災害・危険箇所 病院・診療所 バリアフリー
行事など	地域行事			地域行事 幼稚園、保育園行事 学校行事		葬祭		

なかまづくり

番号	名称	ジャンル	活動場所	運営主体	会員数	開催日・時間	活動内容	入会金	月会費	-	-	-	-	-	-	連絡先	写真	特色
1	NPO法人ITF	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13															
2	英会話同好会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	月四回月曜日 18:30~20:00		ナシ	2000円							〒156-0057 上北沢3-10-9		フリートキング形式で、適度の積極 さがあれば充分に参加できる。
3	秋津書道会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		18名	月二回土曜日 9:30~11:30		ナシ	1500円 雑費 300円							〒155-0032 代沢1-34-6		地域で生涯学習団体として活躍中。
4	彩扇会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		12名	月二回第2・第4水曜 日 10:00~12:00		ナシ	4000円							〒156-0043 松原5-21-16		なごやかな雰囲気の中で書を楽し む。
5	清泉書道会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	毎週火曜日 13:00~16:00		ナシ	4500円							〒155-0033 代田6-32-7		一人一人のレベルに合わせた易しく 親切な指導。
6	丁卯会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		15名	月二回火曜日 9:00~12:00		ナシ	5000円							〒158-0081 深沢1-38-15		自己表現を豊かにする色々な文字の 書き方を指導。
7	墨秀会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	隔週火曜日 10:00~12:00		ナシ	3000円							〒155-0031 代田4-33-34		書道の基本より始め古典まで。
8	墨水会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		11名	週一回水曜日 13:00~16:00		ナシ	4500円							〒155-0033 代田6-29-17		前半は漢詩を行・草書で、後半は古 今の名歌・名句を変体仮名で練習。
9	やまびこ会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	月一回			一回 500円							〒156-0042 羽根木2-27-26		書は人を表すといいますが、人間性 を高め、良い字が書けるように勉強。
10	楽書会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		14名	毎月第1・第4金曜日 13:00~16:00		ナシ	4000円							〒155-0033 代田6-13-6		楽しみながらも向上心に燃えて勉強し ている会。
11	けやき句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		12名	毎月第1木曜日 9:40~12:00		ナシ	1000円							〒154-0002 下馬2-26-15-50		わかりやすい説明とユーモアのある 話や批評を受け、楽しく勉強。
12	さざなみ句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		14名	毎月第2木曜日 9:45~12:00		ナシ	三ヶ月 毎 3500円							〒155-0032 代沢4-43-3		初心者も懇切丁寧な指導し、会員の 親睦も図る行事も企画。
13	新涼会・野菊会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	月一回 13:00~16:00		ナシ	2000円							〒154-0023 若林2-23-20		茶道と俳句の心についても勉強。
14	代田句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		20名	毎月第3水曜日 13:00~17:00		ナシ	三ヶ月 毎 2000円							〒155-0033 代田3-14-4		俳句の研鑽はもとより、手芸・ボラン ティア・お楽しみ会等コミュニケーション の場として。
15	獺祭南句会 獺祭研修句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		30名	毎月第3日曜日 13:00~17:00			500円							〒155-0033 代田5-1-18		日本独特の短型詩である俳句の研鑽 を重ねる。
16	獺祭中央句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		25名	毎月第2日曜日 13:00~17:00		ナシ	500円							〒156-0043 松原4-11-23		
17	ときわ句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	毎月第3土曜日		ナシ	2000円							〒181-0002 三鷹市牟礼5-4-30		自然の風物に親しみながら、平明に して余韻のある句をめざす。
18	花水木句会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		15名	毎月第3・4土曜日 9:30~12:00		ナシ	1300円							〒157-0071 千歳台1-39-4		お互いの輪を大切に勉強。
19	からたち短歌会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		22名	月一回		ナシ	1500円							〒157-0064 給田4-12-16		
20	絵手紙 彩遊会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		9名	毎月第2水曜日 13:30~15:30		ナシ	1000円							〒155-0033 代田6-19-2		絵手紙を主に楽しく仲間の輪を強め ている。

なかまづくり

番号	名称	ジャンル	活動場所	運営主体	会員数	開催日・時間	活動内容	入会金	月会費	-	-	-	-	-	-	連絡先	写真	特色
21	絵画グループ みどり	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		9名	月二回第2・第4金曜日 10:00～12:00		ナシ	4000円							〒155-0033 代田3-44-10		パステルと水彩で静物中心。
22	三五クラブ(子供絵画)	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		8名	月二回土曜日 10:00～12:00			毎回 2500円							〒358-0012 人間市東藤沢3-10 -5-10		小学生たちが、のびのび楽しく絵を学ぶクラブ。
23	世田谷油絵サークル (早矢仕)	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		17名	月二回主として金曜日 13:00～17:00		ナシ	三ヶ月 6000円							〒158-0084 東玉川2-31-16		静物画・風景画・人物画等年間7枚の絵を描くカリキュラム。
24	世田谷 木版画の会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		16名	毎月第1・第3木曜日 13:30～16:00		ナシ	1000円 三ヶ月 毎							〒154-0024 三軒茶屋2-5-9		技術向上と会員相互の輪を図りながら独創力のある会。
25	旅のスケッチ会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		47名	毎月第2・4火曜日 10:00～16:00		1500円	1500円							〒154-0006 三宿2-32-17		楽しくスケッチをすること、無理をしないで気楽に活動。
26	月の会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		13名	月二回月曜日 13:30～16:00		ナシ	4000円							〒155-0033 代田6-32-7		
27	南部スケッチ同好会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		14名	毎月第2土曜日 13:30～17:00		1000円	1500円							〒157-0067 喜多見5-16-21		人物・静物等を主に水彩画。
28	日本画 檀会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		6名	毎月第1土曜日 18:00～21:00		2000円	5000円							〒156-0043 松原1-25-16		絵画の知識・技法を学ぶとともに楽しく自由に描くことを目的。
29	木瑤会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		8名	月4回木曜日 10:00～12:00		あり	5000円							〒155-0031 北沢3-27-15		発音に重点を置き、会話・作文の練習が主な内容。
30	朋友中国語サークル	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		9名	月四回日曜日 13:00～14:30		ナシ	5000円							〒156-0044 赤堤5-26-3		楽しみながらも向上心に燃えて勉強している会。
31	代田フランス・ゼミ	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		30名	毎月第3金曜日 10:00～12:00		1000円	年会費 6000円							〒156-0043 松原5-29-4		文学作品の映画、演劇の合同鑑賞批評も実施しフランス文学研究の醍醐味。
32	世田谷映像クラブ	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		20名	月一回第4土曜日 18:00～21:00		1000円	年会費 2000円							〒154-0014 新町2-24-15-104		各自が製作したビデオ作品の上映。
33	代田GOクラブ	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		34名	毎週土曜日 13:00～17:00		1000円	六ヶ月 毎 3000円n							〒155-0031 北沢4-12-12		中高年の囲碁を楽しむ会
34	代田陶友会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	センター内ガラス戸棚 に展示		ナシ	年会費 2000円							〒155-0033 代田3-14-4		一ヶ月一度程度の作品の展示替え。
35	繻の会	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		5名	月二回木曜日 13:00～16:00		ナシ	5000円							〒156-0041 大原1-41-15		地域の方々と一緒に、おしゃべりしながら伝統工芸にふれあっていたく。
36	カモミール	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		9名	月二回火曜日 10:00～12:00		1000円	一回 2000円							〒156-0043 松原3-27-17		主に木製品に絵付けをする、トールペインティングのサークル。
37	フラワーデザインルーム	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		10名	毎月第4土曜日 13:30～16:00		ナシ	1700円 お花代 別途							〒156-0042 羽根木1-20-4		お花を洋風に生けて楽しむ。
38	英会話レッスン	楽しむ	代田区民センター 代田6-34-13		7名	月四回月曜日 18:30～20:00		ナシ	2000円							〒223-0061 横浜市港北区日吉 7-4-6		アットホームな授業。
39	NPO法人 COSFA COS下北沢	楽しむ	北沢2-39-6													〒155-0031 北沢2-39-6		地域貢献(支援の担い手、交流の場提供、情報発信基地など)の活動の場。
40	NPO法人 幽玄	楽しむ	代田6-32-1													〒155-0033 代田6-32-1		「能」を通して、地域内、世代間の交流を積極的に行い、生き生きした、心豊かな町づくりの推進をはかる。

パイロットマップづくり調査結果抜粋



楽しむ

羽根木神社

所在地

羽根木2丁目17

地図



掲載者

100人委員会

特色

静かな稲荷神社です。

現地写真



基本情報

用途

高齢者・子供と

トイレ	ベンチ	水道	自販機	日陰	広さ	BF	遊具
-		-	-				

使う

代田児童館

所在地

代田6丁目34

地図



掲載者

100人委員会

特色

子育て広場があります

現地写真



基本情報

用途

高齢者・子供と

トイレ	AED	会議室	自販機	電話	ロッカー	BF	-
					-		

『ライフステージにあったマップづくり』資料

《名簿》

	氏名	所属団体	備考
1	伊藤 晶子	ケアマネジャーオフィスぽんてつくす	書記
2	伊藤 薫	世田谷区保健福祉部介護保険課	
3	児玉健太郎	区民	リーダー
4	佐藤 里子	まちづくり広場ザワーズ	
5	相馬 正信	世田谷区保健福祉部計画調整課	
6	田久保康子	B S L 研究会	
7	竹内 邦彦	ぱあとなあ東京社会福祉士	
8	玉目 明幸	世田谷区保健福祉部介護保険課	
9	中山 靖隆	NPO 法人近未来生活研究所 事務局長	
10	野中久美子	東京都老人総合研究所 客員教授	
11	早田 靖博	地域の支えあい活動参加メンバー	
12	松本 卓久	地域の支えあい活動参加メンバー	
13	水谷 章子	介護福祉士・人形作家	
14	味田村正行	いきいきコンシェルジュ経営オフィス 代表	
15	光岡 明子	NPO 法人せたがや福祉サポートセンター 代表	
16	矢崎与志子	福祉情報サチ&アドバイザーグループ・アウトリーチ	
17	龍 國朝	世田谷たすけあいネット 代表	

(氏名・五十音順)

〈活動日誌〉

	日時	内容	人数
1	11/22 (木) 19:00~20:30	「せたがや福祉 100 人委員会」発足会・自己紹介。	14 名
2	12/13 (木) 18:30~21:00	「地域福祉マップ」のイメージについて各人発表し検討	10 名
3	1/10 (木) 18:30~21:00	モデル案と自分が考えるマップを持ち寄り、各世代のスタンダードとその世代が必要とする地域情報を検討	9 名
4	2/4 (月) 18:30~21:00	マップの最終イメージ・モデルマップの骨格について検討。	6 名
5	3/5 (水) 18:30~21:00	実際に作ってきたマップを参考に、マップのサイズ、イメージを検討し、マップ作りの運営・運営団体・支援方法について検討。	8 名
6	4/4 (金) 18:30~21:00	下北沢地域の地図を作っている「COS 下北沢」を訪	12 名

		問し、地図作成の活動について話し合い、共に行動することを確認。	
7	4/28(月)18:30~21:00	モデル的に守山小学校を中心とした半径 500m で①転入・住み始め②自身の高齢化の2パターンで3つの項目(学ぶ・楽しむ・地域の状況)の調査を決定。	8名
8	5/3~6(土)~(火)	各メンバー、守山小学校を中心とした地域を実地踏査	10名
9	5/30(金)18:30~21:00	各メンバーより、連休中の調査結果を発表。調査箇所の一覧表作成。該当箇所をカード化(写真・詳細情報添付)したものを提案することを確認	12名
10	6/27(金)18:30~21:00	調査結果をポイントしたものを提出。 活動を通じて、地域の問題解決についても貢献できることを確認。	8名
11	7/10(木)18:30~21:00	発表会に向けてプレゼン用資料等の確認、追加を確認	7名
12	7/28(月)18:30~21:00	リハーサルで指摘された点を速やかに修正されたものが提出され、検討。視聴覚障害者の方にもわかり易い画面説明に加筆対応することを決定。	9名
13	8/22(金)18:30~21:00	報告書の内容を確認決定。	6名